

## 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成25年7月31日

施設名	高知県立春野総合運動公園	所管課名	土木部公園下水道課
-----	--------------	------	-----------

### 1 施設の概要

指定管理者名	財団法人 高知県スポーツ振興財団	指定期間	平成21年4月1日 ~ 平成26年3月31日
施設所在地	高知市春野町芳原		
事業内容	1, 施設の運営に関する業務 ・施設及び設備の利用に関する業務 ・施設等の利用料金の徴収等 2, 施設等の維持管理に関する業務 ・運動施設管理業務 ・植栽管理業務 ・施設等保守管理業務 ・清掃業務 ・警備業務 3, 公園全般に係るその他の業務 ・利用案内、関係機関等との連携・協力、要望・苦情処理、緊急事態の対応		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 公園面積59.7ha、供用日：1月4日から12月28日、供用時間：8:30～17:00 運動施設(野球場：20,900㎡・収容人員16,000人、陸上競技場：400mトラック・収容人員25,000人等) 遊戯施設(ちびっこ広場、散策道、展望台) 便益施設(管理事務所、駐車場、トイレ、シャワー) その他の施設(宿泊施設、飲食店、売店)		
職員体制	職員：2人 定期職員：25人 短期職員：12人 合計：39人		

### 2 収支の状況

単位：円

		23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)
収入	県支出金	198,003,000	198,403,000	198,203,000
	使用料・手数料	71,426,545	67,357,280	66,400,000
	その他	2,092,050	2,057,970	3,500,000
	収入計 (a)	271,521,595	267,818,250	268,103,000
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	191,953,967	186,662,271	184,708,000
	人件費	78,563,129	80,319,861	83,395,000
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	270,517,096	266,982,132	268,103,000
収支差額 (a) - (b)		1,004,499	836,118	0

### 3 利用状況

	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	444,709	461,726	500,000
②利用者意見等の反映	<p>○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <p>・水泳場、体育館、陸上競技場において、アンケート調査を実施(通年・意見箱設置)調査結果等:要望を受け、陸上競技用の器具類の購入や、ソフトボール場のスコアボードの修繕等を行った。</p> <p>また、要望の多いテニスコート、トレーニングルームの正月営業を引き続き、実施した。</p> <p>○その他</p> <p>・要望を受け、陸上競技場の供用日時を変更し、1月2日、3日に都道府県駅伝大会の強化合宿練習会のために使用を認めた。</p> <p>・犬のノーリードや糞の後始末等マナー違反に対して、注意喚起の看板を新たに設置し、また、マナーアップキャンペーンを実施し、ティッシュ配りをするなど、マナー向上に努めた。ティッシュは3,000個作成し、うち500個を24年度に配布した。次年度も引き続き実施する予定。</p>		
③その他特記事項			

### 4 平成24年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<p>協定書、仕様書及び事業計画に基づく適正な運営管理が実施された。</p> <p>例年、スポーツキャンプやイベントの誘致協力を努めており、観光コンベンション協会との連携も図られた。</p> <p>今年度は、新たなイベントとして「高知龍馬マラソン2013」や「日本スポーツマスターズ2012高知大会」も開催されたが、適正な運営が行われたことは評価できる。</p> <p>利用調整会議等の機会をとらえ、要望聞き取りなどニーズの把握に努め、そういったニーズをとらえて自主事業を実施した。</p> <p>維持・修繕は、金額で計画を若干上回り、適正に対処した。</p> <p>利用者の声、施設、機器類の使用状況、観客動向、及び全施設の管理状況の情報が一元管理されているとともに必要な情報は県に随時提供された。</p>
②利用者サービスの維持向上	<p>プロキャンプの状況や各チームの要望等を積極的に把握し、各チームの希望する硬さでグラウンドコンディションを迅速に調整するなどしたことは評価できる。</p> <p>特に今年度は西武ライオンズの要望に応え、マスコミ等対策のための投球練習場の目隠し工事をキャンプまでに施行するなどして、サービス向上に努めた。</p> <p>例年に引き続き、施設の改善、正月営業等により、利用者サービスの向上を図った。</p> <p>好評だった自主事業は継続し、さらに新たな自主事業を展開した。</p>
③利用実績	<p>利用人数は増加した(前年比約17,000人)。これは、日本スポーツマスターズ大会(10月)や高知龍馬マラソンの開催(2月)、プロ野球・プロサッカーのプレシーズンマッチの開催等が主な要因であるが、これらのイベントの増加だけでなく、日頃から、利用者サービスの維持向上に努めてきた成果が表れたことによるリピーターの増加も要因として挙げられ、評価できる。</p>
④収支の状況	<p>利用料収入は減少した(前年比約△407万円)。減収の主な要因としては前年度開催されたポリショイサーカス(約400万円の収入)が24年度は開催されなかったこと、テニス場工事により、年間を通じてコートを半分しか使用できなかったこと、運動広場Aの芝張替により約半年しか使用できなかったことなどが挙げられる。</p> <p>しかしながら、これだけマイナス要因がありながら、H21、22年度を上回る収入を確保し、光熱水費の節制等に努めた結果、黒字となっている。</p>
総合評価	<p>協定書、仕様書及び事業計画の内容、目標を上回る管理運営業務が実施されたこと認められる。</p> <p>例年どおりキャンプの評価は高く、来年度以降も春野で実施したいという声が多い。主にテニス場を中心に、施設の利用期間が制限されたにもかかわらず、利用人数が増加したのは、イベントの実施だけでなく、利用者サービスの向上に取り組んできた成果が表れたものと評価できる。</p> <p>様々な課題や苦情への対応及び積極的な職員の研修参加等により、指定管理4年間で積み上げたノウハウにより、次年度の利用者増等に反映させていくことが期待できる。</p>

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの